

「海の道 若狭湾」応援プロジェクト

～ご寄附のお願い～



独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立若狭湾青少年自然の家

【本件担当】

国立若狭湾青少年自然の家 総務・管理係
TEL 0770-54-3100
FAX 0770-54-3023
Mail wakasawan-so@niye.go.jp

企業、団体の皆様へ

当施設は、昭和59年4月から利用団体受入れを開始して以来、青少年教育の振興及び健全な青少年の育成を図るとともに、地域と共にあり、地域に必要とされる施設を目指してまいりました。今年で41年目になりますが、令和5年度末には利用者数300万人を数えるに至りました。

さて、ご承知のとおり当施設は、平成13年4月1日より文部科学省の直轄機関から「独立行政法人」に移行し運営をいたしております。独立行政法人は、その運営に必要な経費は、国からの交付金と自己収入によることとされておりますが、より充実した業務を遂行するために、寄附金・協賛金などの外部資金を積極的に活用することが求められております。

当施設は、「『海の道 若狭湾』～つながろう そこにあるのは海と山～」の理念のもと、自然体験活動、集団宿泊活動を通じた青少年育成、社会および地域貢献や環境教育に取り組んでいるところです。あわせて、利用される学校や団体等の教育活動に対するサービスと事業の一層の充実を目指して取り組んでいるところでもあります。これらの趣旨をご理解いただき、青少年教育の充実・青少年の健全育成のためにご厚志を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

【寄附金に対する税法上の扱い】

寄附金については、一定の金額までは、寄附者が内国法人の方の場合は法人税法の規定により損金とされ、個人の方の場合は所得税法の規定により、寄附金控除が受けられます。



【理念】

「海の道 若狭湾」

～つながろう そこにあるのは海と山～

我が国本土の中央部に位置し、対馬暖流がもたらす豊かな山海の恵み、東アジアとつながる歴史・文化の玄関「若狭湾」。海の道はここから全国、世界に続く。海国の士気、青少年の生きる力を育み、未来を担う青少年の自立を図る。そのため、豊かな自然環境、歴史・文化の資源を開発し、地域自然・観光資源とのネットワークを構築、地域の課題にも寄り添いながら、教育事業開発に取り組み、活気ある青少年教育施設を目指す。

【寄附金の活用概要】

1 ライフジャケット購入

- ①熱中症対策として、当施設のメインプログラムであるカッター活動の研修指導員・補助員用のライフジャケットを通気性の良い自動膨張式のものに更新させていただきます。
- ②当施設利用者が水泳活動やボート活動等を行う際に着用するライフジャケットを購入させていただきます。

2 当施設の運営支援

- ①開所から40年以上経過し、施設の老朽化が随所に見られるため、利用者が安全に安心して、生活、活動できるよう施設設備の修繕等に活用させていただきます。
- ②その他、利用者の快適性や利便性を考慮し、必要な物品等を購入させていただきます。

- ご寄附は、カッター活動の研修指導員・補助員用のライフジャケット更新を優先して、使用させていただきます。

【寄附金の活用詳細】

1 ライフジャケット購入

① カッター活動研修指導員・補助員用のライフジャケット購入

当施設のメインプログラムの一つがカッター活動です。目の前に広がる若狭湾を舞台に、全長9m、重量1.5トンの大きなカッターを12本の櫂(オール)で漕ぎます。そのねらいは、

- ・一生懸命、全力で取り組む体験をする。
- ・みんなで協力することの大切さを体験する。
- ・最後までやり抜くことのすばらしさを体験する。
- ・海の偉大さやすばらしさを体感し、自然環境に対する意識を高める機会とする。



このカッター活動を支えているのが、研修指導員であり補助員です。研修指導員は実際にカッターに乗り込み、艇長として、利用者を指導・支援し、補助員は、桟橋にてカッターの発着・達着に携わるとともに、カッターの準備、後片付けを行います。

カッター活動は、当施設職員だけでは行えない活動であり、海に関する知識と技術を持った研修指導員、補助員の方々の存在は、かけがえのないものとなっています。

ところで、近年の温暖化に伴い、当施設においても、熱中症対策のさらなる改善が求められています。(令和7年6月1日には改正労働安全衛生規則が施行され、職場における熱中症対策の強化が示されました)

このことを受け、当施設においても、カッター研修指導員、補助員の熱中症対策として、カッター研修指導員、補助員のライフジャケットを現在のベスト型から通気性の良い自動膨張式に更新していきたいと考えています。大きな理由の一つが、カッター研修指導員、補助員の方が概ね70歳以上の高齢の方であるということです。加えて、遠方から来ていただいているということもあります。健康上、安全上の面から是非とも実現したいと考えています。

先にも述べたとおり、海に関する知識と技術を持った方というのは、大変貴重な存在であり、その方々に、長く安心して活動に従事していただくためにも、カッター研修指導員、補助員のライフジャケットの更新は欠かせません。

ベスト型



自動膨張式



② 施設利用者用のライフジャケット購入

当施設では、利用者がシーカヤック、ボート、磯観察、釣り、水泳の活動を行う際にライフジャケットを貸し出しています。そのライフジャケットも破損が激しく安全性が危惧される場合は、廃棄し、必要数を購入するようにしています。

しかしながら、今年度は廃棄する必要のあるライフジャケットが想定数以上となり、次年度以降の活動への影響が懸念されております。

このような状況を鑑み、施設利用者用のライフジャケットを少しでも多く購入したいと考えています。

2 当施設の運営支援

- ① 開所から40年以上経過し、施設の老朽化が随所に見られるため、利用者が安全に安心して、生活、活動できるよう施設設備の修繕等に活用させていただきます。
- ② その他、利用者の快適性や利便性を考慮し、必要な物品等を購入させていただきます。

【寄附金をいただくにあたって】

- ・まずは、当所まで電話、メールにてお問い合わせください。

電話：0770-54-3100 メール：wakasawan@niye.go.jp

- ・募集（寄附受付） 2026年2月9日～3月中旬
- ・ご寄附いただいた企業、団体様につきましては、企業、団体名を当施設HPに掲載ならびに施設内にて掲示させていただきます。
- ・30,000円以上ご寄附いただいた企業、団体様につきましては、企業、団体名もしくはロゴ等を玄関ならびに食堂テーブルサイン等にて表示させていただきます。（1年以上）なお、掲載順序や位置、大きさは当所にて決定させていただきます。

